



Latitude 9510

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Latitude 9510 を設定する	5
章 2: Latitude 9510 の図	7
ディスプレイ ビュー.....	7
上面図 (コンバーチブル)	8
上面図.....	9
右面図.....	10
左面図.....	10
底面図.....	11
章 3: モード	12
タブレット モード.....	12
ノートパソコン モード.....	13
テント モード.....	14
スタンド モード.....	15
章 4: Latitude 9510 の仕様	16
寸法と重量.....	16
プロセッサー.....	16
プロセッサー.....	17
チップ セット.....	17
オペレーティング システム.....	17
メモリー.....	18
ポートとコネクタ.....	18
ストレージ.....	18
オーディオ.....	19
メディアカードリーダー.....	19
キーボード.....	19
カメラ.....	20
指紋認証リーダー (オプション)	21
タッチパッド.....	21
タッチパッドジェスチャ.....	21
電源アダプター.....	21
バッテリー.....	22
ディスプレイ.....	23
ワイヤレス モジュール.....	24
コンピュータ環境.....	24
章 5: セットアップユーティリティ	25
ブートメニュー.....	25
ナビゲーションキー.....	25
ブート シーケンス.....	26
セットアップユーティリティのオプション.....	26
一般オプション.....	26

システム設定.....	27
ビデオ画面のオプション.....	29
セキュリティ.....	29
セキュアブート.....	32
インテル® ソフトウェア・ガード・エクステンションズのオプション.....	32
パフォーマンス.....	33
電源管理.....	33
POST 動作.....	35
管理機能.....	36
仮想化サポート.....	36
ワイヤレスオプション.....	37
メンテナンス.....	37
システムログ.....	38
SupportAssist システムの解決策.....	38
Windows での BIOS のアップデート.....	39
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	39
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	39
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	40
システム セットアップパスワードの割り当て.....	40
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	41
章 6: トラブルシューティング.....	42
Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック 診断.....	42
SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェックの実行.....	42
診断.....	42
診断エラーメッセージ.....	44
システムエラーメッセージ.....	47
Wi-Fi 電源の入れ直し.....	48
章 7: ヘルプ.....	49
デルへのお問い合わせ.....	49

Latitude 9510 を設定する

1. 電源アダプターを接続して、電源ボタンを押します。






2. Windows システムのセットアップを完了します。
3. 画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。
 - ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
 - **メモ:** セキュアなワイヤレス ネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレス ネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
 - インターネットに接続されている場合は、サインインするか、アカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフライン アカウントを作成します。
 - Support and Protection **サポートおよび保護**の画面で、連絡先の詳細を入力します。
4. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨


表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いの PC を登録します。
	デルのヘルプとサポート PC のヘルプとサポートにアクセスします。
	SupportAssist PC のハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。

表 1. Dell アプリを見つける (続き)

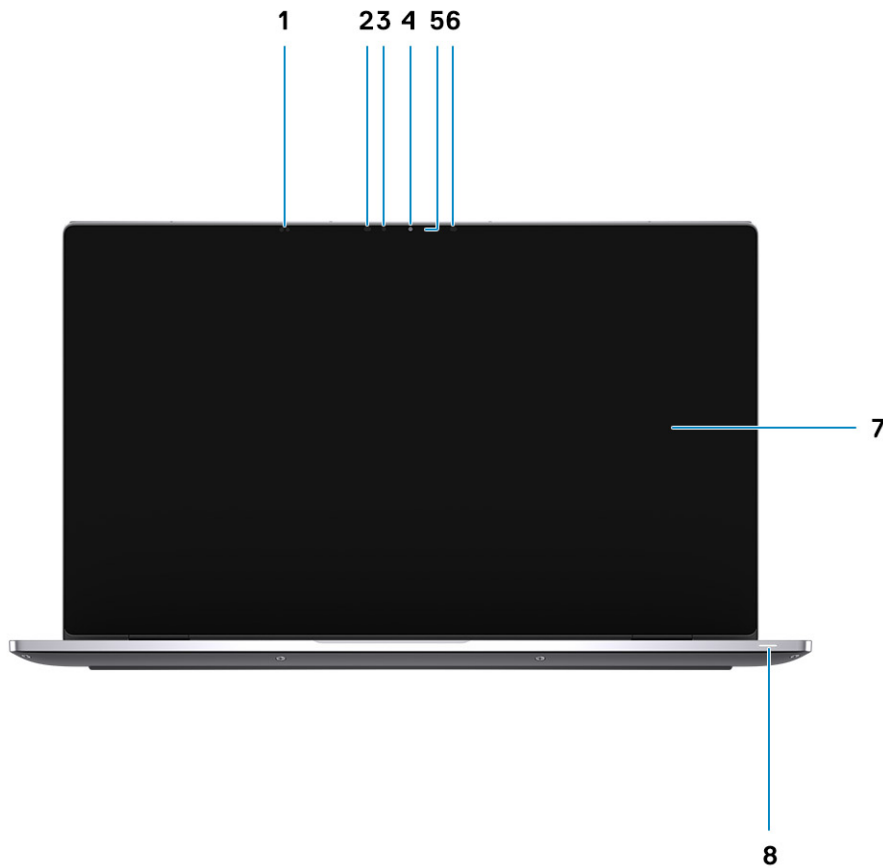
Dell アプリ	詳細
	<p> メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell Update</p> <p>重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いの PC を更新します。</p>
	<p>Dell Digital Delivery</p> <p>さまざまなソフトウェアアプリケーション (購入済みだがインストールされていないソフトウェアなど) を、お使いの PC にダウンロードします。</p>

5. Windows 用の回復ドライブを作成します。

 **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、回復ドライブを作成することが推奨されています。

Latitude 9510 の図

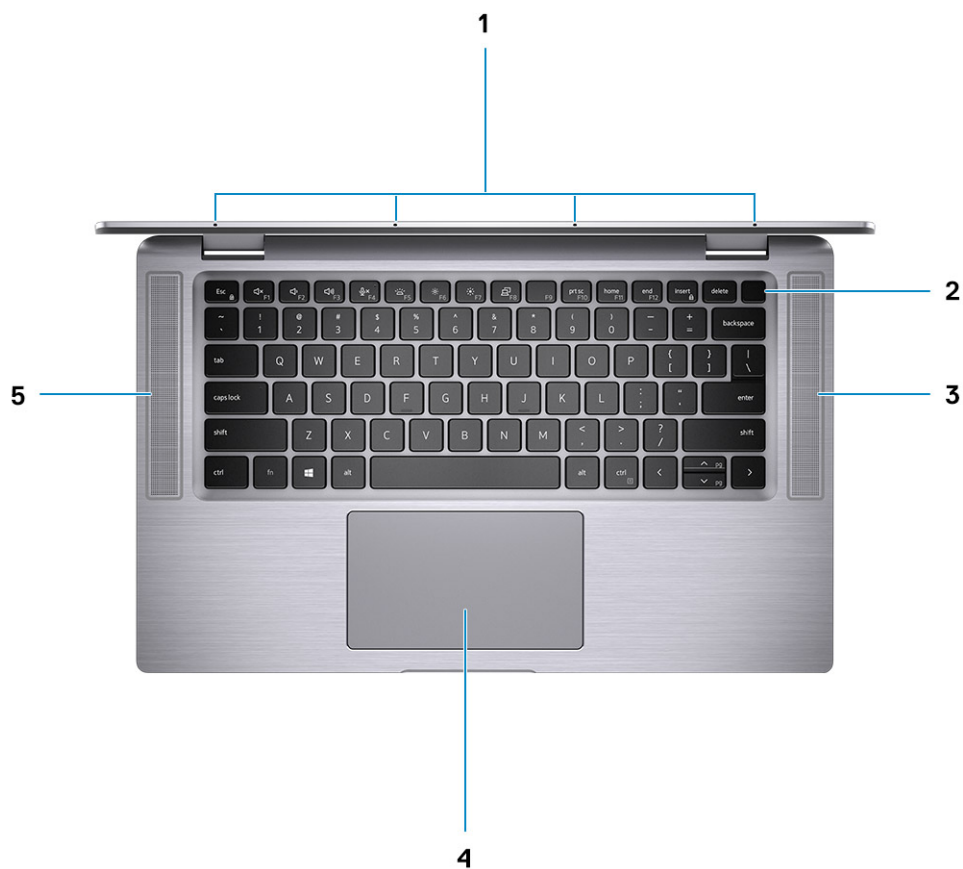
ディスプレイ ビュー



1. 近接センサー
3. ALS (周囲光センサー)
5. カメラステータスライト
7. モニター パネル

2. IR エミッタ
4. カメラ (IR/RGB)
6. IR エミッタ
8. バッテリー ステータス ライト/診断ステータス ライト

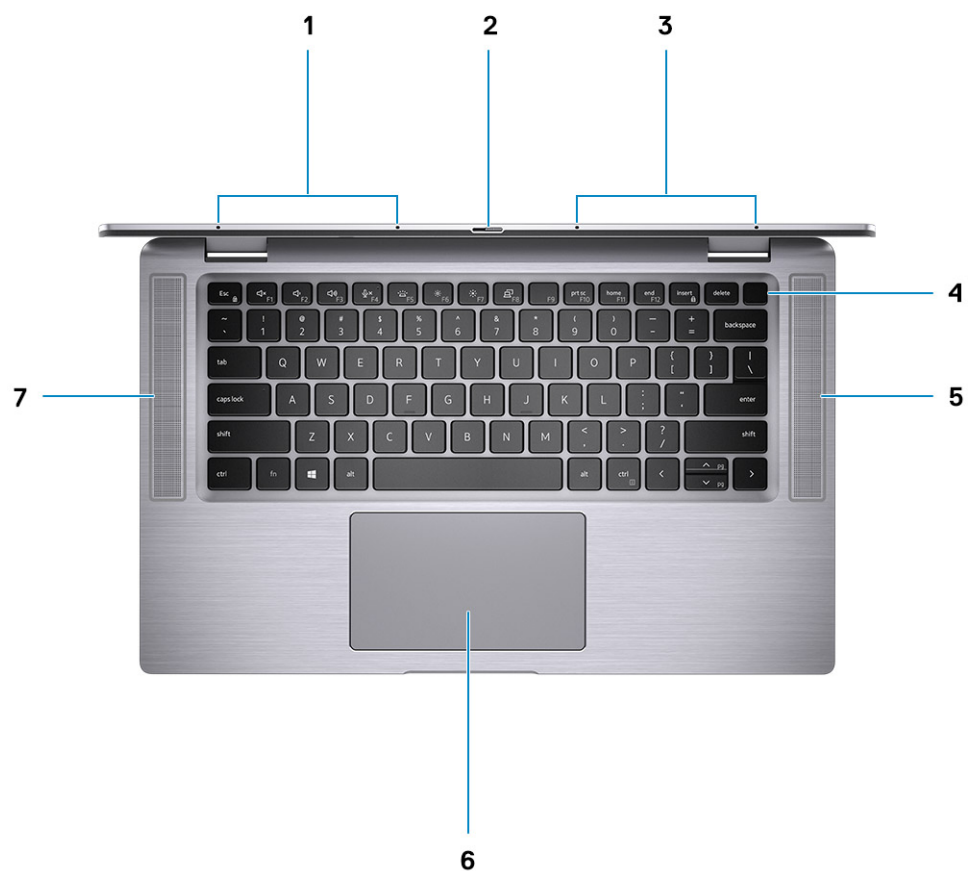
上面図 (コンバーチブル)



1. マイクフォン
3. 右スピーカー
5. 左側のスピーカー

2. 電源ボタン
4. タッチパッド

上面図



1. 左マイクロフォン
3. 右マイクロフォン
5. 右スピーカー
7. 左側のスピーカー

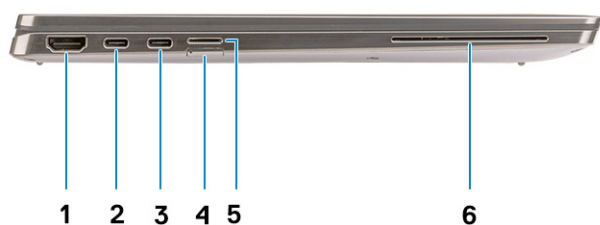
2. カメラ用シャッター
4. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン (オプション)
6. NFC 対応タッチパッド (オプション)

右面図



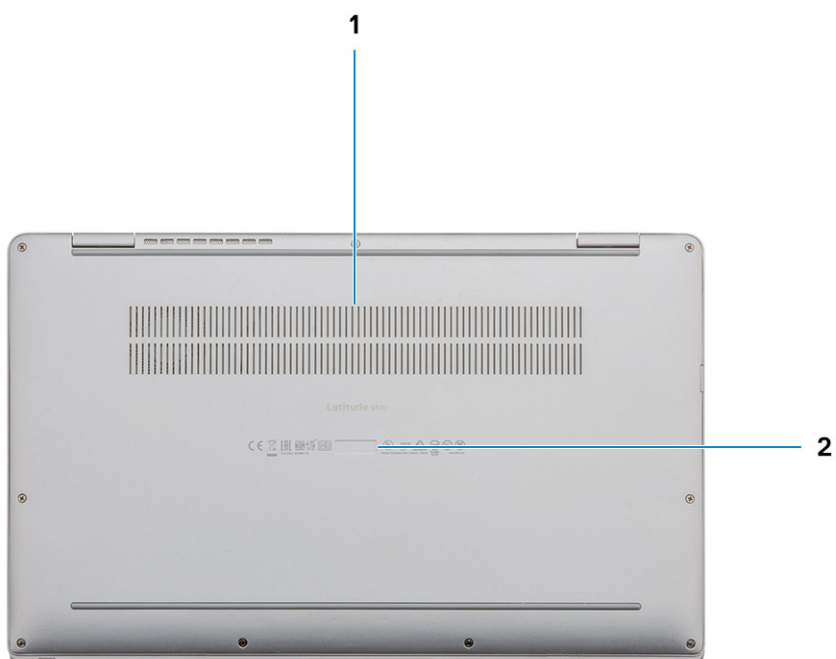
1. セキュリティ ケーブル スロット (V字型)
2. 3.5 mm ユニバーサル オーディオ ジャック
3. USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート (PowerShare 対応)

左面図



1. HDMI 2.0 ポート
2. USB 3.2 Gen 2 Type-C ポート (Thunderbolt 3/Power Delivery/ DisplayPort 対応)
3. USB 3.2 Gen 2 Type-C ポート (Thunderbolt 3/Power Delivery/ DisplayPort 対応)
4. SIM カード スロット
5. microSD カード スロット
6. 接触型スマートカードリーダー (オプション)

底面図



1. サーマル孔
2. サービス タグラベル

①メモ: モードは Latitude 9510 (コンバーチブル) でのみ利用可能です。

タブレットモード



ノートパソコン モード



テントモード



スタンドモード



Latitude 9510 の仕様

寸法と重量

表 2. 寸法と重量

説明	値
高さ :	
前面	8.23 mm (0.32 インチ)
背面	13.99 mm (0.55 インチ)
幅	340.20 mm (13.39 インチ)
奥行き	215.80 mm (8.49 インチ)
重量 (最大)	<ul style="list-style-type: none"> コンバーチブル型の重量 : 1.50 kg (3.30 lb) ノート PC の重量 : 1.40 kg (3.10 lb)

プロセッサ

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 3. プロセッサ

プロセッサ	ワット数	コア数	スレッド数	スピード	キャッシュ	内蔵グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i5-10210U	15 W	4	8	1.6 GHz ~ 3.9 GHz	6 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i5-10310U	15 W	4	8	1.6 GHz ~ 4.0 GHz	6 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10610U	15 W	4	8	1.8 GHz ~ 4.3 GHz	8 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10710U	15 W	6	12	1.1 GHz ~ 3.9 GHz	12 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10810U	15 W	4	8	1.1 GHz ~ 4.0 GHz	12 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10510U	15 W	4	8	1.8 GHz ~ 4.9 GHz	8 MB	TBD

プロセッサ

メモ: プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 4. プロセッサ

プロセッサ	ワット数	コア数	スレッド数	スピード	キャッシュ	内蔵グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i5-10210U	15 W	4	8	1.6 GHz ~ 3.9 GHz	6 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i5-10310U	15 W	4	8	1.6 GHz ~ 4.0 GHz	6 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10610U	15 W	4	8	1.8 GHz ~ 4.3 GHz	8 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10710U	15 W	6	12	1.1 GHz ~ 3.9 GHz	12 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10810U	15 W	4	8	1.1 GHz ~ 4.0 GHz	12 MB	インテル UHD グラフィックス
第 10 世代 インテル® Core™ i7-10510U	15 W	4	8	1.8 GHz ~ 4.9 GHz	8 MB	TBD

チップセット

表 5. チップセット

説明	値
チップセット	インテル Q470
プロセッサ	第 10 世代 インテル® Core™ i5 / i7
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	32 MB
PCIe バス	Gen 3.0 まで

オペレーティングシステム

- Windows 10 Professional (64 ビット)
- Windows 10 Home (64 ビット)

メモリー

表 6. メモリーの仕様

説明	値
スロット	オンボード メモリー
タイプ	LPDDR3
スピード	2133 MHz
最大メモリー	16 GB
最小メモリー	8 GB
メモリー サイズ (オンボード)	8 GB、16 GB

ポートとコネクタ


表 7. ポートとコネクタ

ポートとコネクタ	
USB	<ul style="list-style-type: none">2 x USB 3.2 Gen 2 Type-C ポート (Thunderbolt 3/Power Delivery/DisplayPort 対応)1 x USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート (Power Delivery 対応)
オーディオ	コンボ マイクロフォン/ヘッドホン ジャック x1
ビデオ	1 x HDMI 2.0 ポート
ドッキングポート	Type-C ポートを使用したドッキングのサポート
電源アダプターポート	2 x 電源アダプター USB Type-C ポート
セキュリティ	セキュリティーケーブル スロット (ウェッジ型) x1

表 8. 外部ポート

外部	
メディアカード リーダー	microSD カード 4.0 スロット x1
SIM	uSIM スロット (WWAN のみ) x1

表 9. 内部ポートとコネクタ

内蔵	
M.2	<ul style="list-style-type: none">1 x SSD 用 M.2 2230 スロット <p> メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、ナレッジベース記事 SLN301626 を参照してください。</p>

ストレージ

お使いの PC では、以下の設定がサポートされています。

PC のプライマリ ドライブは、ストレージ構成により異なります。

表 10. ストレージの仕様

ストレージのタイプ	インターフェイスのタイプ	容量
M.2 2230, Class 35 SSD	Gen 3 PCIe x4 NVMe	最大 1TB
M. 2 2230、Opal 自己暗号化 Class 35 SSD	Gen 3 PCIe x4 NVMe	最大 256 GB

オーディオ

表 11. オーディオの仕様

説明	値
コントローラー	Realtek ALC711-CG
ステレオ変換	対応
内部インターフェイス	SoundWire
外部インターフェイス	ユニバーサルオーディオジャック
スピーカー	ステレオ
アンプ内蔵スピーカー	Realtek ALC1309D
外部ボリューム コントロール	外部ボリューム コントロール対応
スピーカー出力 :	
	平均値
	ピーク値
サブウーハー出力	非対応
マイクروفオン	クワッドアレイ マイクروفオン

メディアカードリーダー

表 12. メディアカードリーダーの仕様

説明	値
タイプ	microSD カード 4.0 スロット
サポートされるカード	<ul style="list-style-type: none"> セキュア デジタル (SD) セキュア デジタル高容量 (SDHC) セキュア デジタル拡張容量 (SDXC)

キーボード

表 13. キーボードの仕様

説明	値
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> 標準バックライト キーボード (ホワイト)

表 13. キーボードの仕様 (続き)

説明	値
レイアウト	QWERTY
キーの数	<ul style="list-style-type: none"> ● 米国およびカナダ : 79 キー ● 英国 : 80 キー ● 日本 : 83 キー
サイズ	X = 19.05 mm キー ピッチ Y = 18.05 mm キー ピッチ
ショートカットキー	キーボードのキーの中には記号が 2 つ書かれているものがあります。そのキーを使用して代替文字を打つ、または二次機能を実行することができます。代替文字を打つには、Shift キーと希望するキーを押します。二次機能を実行するには、Fn キーと希望するキーを押します。BIOS セットアップ プログラムで [ファンクション キーの動作] を変更することで、ファンクション キー (F1 ~ F12) のプライマリ動作を定義できます。

カメラ

表 14. カメラの仕様

説明	値
カメラの数	1 回
タイプ	RGB/IR カメラ
場所	前面カメラ
センサーのタイプ	CMOS RGB-Ir ハイブリッド テクノロジー
解像度	
カメラ	
静止画像	0.90 メガピクセル
ビデオ	1280 x 720 (VGA/HD) (30 fps)
赤外線カメラ	
静止画像	0.20 メガピクセル
ビデオ	640 x 360 (VGA/HD) (15 fps)
対角視野角	
カメラ	78 度
赤外線カメラ	78 度

指紋認証リーダー（オプション）

表 15. 指紋認証リーダーの仕様

説明	値
センサーテクノロジー	静電容量：Windows Hello 認証の指紋認証ソリューション
センサーの解像度	363 dpi
センサー領域	5.25 mm x 6.9 mm
センサーのピクセルサイズ	76 x 100

タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

説明	値
解像度：	
水平方向	3562
垂直方向	2026
寸法：	
水平方向	115 mm (4.53 インチ)
垂直方向	67 mm (2.64 インチ)

タッチパッドジェスチャ

Windows 10 のタッチパッドジェスチャーの詳細については、support.microsoft.com にある Microsoft ナレッジベースの記事 4027871 を参照してください。

電源アダプター

表 17. 電源アダプターの仕様

説明	値	
タイプ	65 W USB Type-C	90 W USB Type-C
直径（コネクター）	22 x 66 x 99 mm(0.87 x 2.6 x 3.9 インチ)	22 x 66 x 130 mm(0.87 x 2.6 x 5.12 インチ)
入力電圧	AC100 V ~ AC240 V	AC100 V ~ AC240 V
入力周波数	50 Hz ~ 60 Hz	50 Hz ~ 60 Hz
入力電流（最大）	1.70 A	1.50 A
出力電流（連続）	3.25 A 3 A 3 A 3 A	4.5 A 3 A3 A3 A
定格出力電圧	DC20V/DC15V/DC9V/DC5V	DC20V/DC15V/DC9V/DC5V

表 17. 電源アダプターの仕様 (続き)

説明		値	
温度範囲 :			
	動作時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
	ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

バッテリー

表 18. バッテリーの仕様

説明		値		
タイプ	4 セル、52 Whr、ExpressCharge および ExpressCharge Boost	6 セル、88 Whr、ExpressCharge	4 セル、52 Whr、LCL	
電圧	DC7.60 V	DC11.40 V	DC7.60 V	
重量 (最大)	0.255 kg (0.57 lb)	0.355 kg (0.80 lb)	0.255 kg (0.57 lb)	
寸法 :				
	高さ	260.00 mm (10.24 インチ)	260.00 mm (10.24 インチ)	260.00 mm (10.24 インチ)
	幅	85.80 mm (3.38 インチ)	85.80 mm (3.38 インチ)	260.00 mm (10.24 インチ)
	奥行き	5.07 mm (0.20 インチ)	5.07 mm (0.20 インチ)	5.07 mm (0.20 インチ)
温度範囲 :				
	動作時	0°C ~ 60°C (0°F ~ 140°F)	0°C ~ 60°C (0°F ~ 140°F)	0°C ~ 60°C (0°F ~ 140°F)
	ストレージ	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	
充電時間 (概算)	4 時間 (PC の電源がオフの場合)	4 時間 (PC の電源がオフの場合)	4 時間 (PC の電源がオフの場合)	
寿命 (概算)	300 サイクル (充電 / 放電)	300 サイクル (充電 / 放電)	1000 サイクル (充電 / 放電)	
コイン型電池	非対応	非対応	非対応	
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	
Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間	非対応	

表 18. バッテリーの仕様 (続き)

説明	値		
	46°C ~ 50°C : 3 時間	46°C ~ 50°C : 3 時間	

ディスプレイ

表 19. ディスプレイの仕様

説明	値		
タイプ	15 インチ フルハイ デフィニション (FHD)	15 インチ フルハイ デフィニション (FHD)	15 インチ フルハイ デフィニション (FHD) : タッチ
パネルテクノロジー	広い視野角 (WVA)	広い視野角 (WVA)	広い視野角 (WVA)
輝度 (標準)	400 ニット	400 ニット	400 ニット
寸法 (アクティブ エリア):			
	高さ	186.30 mm (7.33 インチ)	186.30 mm (7.33 インチ)
	幅	331.20 mm (13.04 インチ)	331.20 mm (13.04 インチ)
	対角線	380.00 mm (14.96 インチ)	380.00 mm (14.96 インチ)
ネイティブ解像度	1920 x 1080	1920 x 1080	1920 x 1080
メガピクセル	2.07	2.07	2.07
色域	100% (sRGB)	100% (sRGB)	100% (sRGB)
1 インチあたりの画素数 (PPI)	147	147	147
コントラスト比 (最小)	1200 : 1	1200 : 1	1200 : 1
レスポンス タイム (最大)	35 ミリ秒	35 ミリ秒	35 ミリ秒
リフレッシュレート	60 Hz	60 Hz	60 Hz
水平可視角度	80 +/- 度	80 +/- 度	80 +/- 度
垂直可視角度	80 +/- 度	80 +/- 度	80 +/- 度
ピクセルピッチ	0.17 mm	0.17 mm	0.17 mm
電力消費 (最大)	2.19 W	2.19 W	2.29 W
反射防止対汚れ防止	非光沢	非光沢	反射防止/汚れ防止
タッチオプション	無	無	有
タッチペンのサポート	No	No	Yes

ワイヤレス モジュール

表 20. ワイヤレス モジュールの仕様

Model number (モデル番号)	インテル® Wi-Fi 6 AX201	Qualcomm Snapdragon X20 Global Gigabit LTE、eSIM 対応
転送レート (最大)	2400 Gbps	1 Gbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz	3.4 GHz
ワイヤレス規格	Wi-Fi 802.11a/b/g、Wi-Fi 4 (WiFi 802.11n)、Wi-Fi 5 (WiFi 802.11ac)、Wi-Fi 6 (WiFi 802.11ax)	LTE、WCDMA
Bluetooth	Bluetooth 5.1	適用なし
暗号化	64 ビット/128 ビット WEP、AES-CCMP、TKIP	適用なし

コンピュータ環境

表 21. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度	10% ~ 90% (結露なし)	0% ~ 95% (結露なし)
振動 (最大)*	0.66 GRMS	1.30 GRMS
衝撃 (最大)	110 G†	160 G†
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (4.64 フィート ~ 5518.4 フィート)	-15.2 m ~ 10668 m (4.64 フィート ~ 19234.4 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワンタイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブートシーケンスを利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス(例: 光学ドライブまたはハードドライブ)から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
①メモ: XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハード ドライブ (利用可能な場合)
- 診断
①メモ: [診断] を選択すると [SupportAssist] 画面が表示されます。

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

①メモ: お使いのノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 22. 一般規定

オプション	説明
[システム情報]	このセクションには、PC の主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">● [システム情報]● [メモリー情報]● [プロセッサ情報]
[Battery Information]	バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプターの種類を表示します。
[ブートシーケンス]	PC での起動オペレーティングシステムの検出順序を変更できます。 [ブートシーケンス UEFI] は、デフォルトで有効に設定されています。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">● [Add Boot Option]● [Delete Boot Option]● [表示]
[詳細起動オプション]	[UEFI ネットワーク スタック] オプションを有効または無効にできません。 [UEFI ネットワーク スタックを有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。

表 22. 一般規定 (続き)

オプション	説明
[UEFI 起動パス セキュリティ]	<p>UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [内蔵 HDD を除き常時](デフォルトで有効) • [内蔵 HDD と PXE を除き常時](デフォルトで無効) • [常時](デフォルトで無効) • [要求しない](デフォルトで無効) <p>管理者パスワードが設定されていない場合、これらのオプションは反映されません。</p>
[日付/時刻]	<p>日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。</p>

システム設定

表 23. システム設定

オプション	説明
[SATA の動作]	<p>統合 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効](デフォルトで無効) • [AHCI](デフォルトで無効) • [RAID オン](デフォルトで有効)
[Drives]	<p>各種オンボード ドライブを有効または無効にすることができます。</p> <p>[M.2 PCIe SSD-0] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[SMART レポート]	<p>このフィールドでは、内蔵ドライブのハード ドライブ エラーを起動時に報告するかどうかを制御します。</p> <p>[SMART レポートを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[USB 設定]	<p>内蔵 USB コントローラを設定することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [USB 起動サポートを有効にする](デフォルトで有効) <ul style="list-style-type: none"> ① メモ: ファストブート オプションを [最小] に設定した場合は、[USB 起動サポートを有効にする] の設定は無視され、システムは起動前の USB デバイスから起動しません。 • [外部 USB ポートを有効にする](デフォルトで有効) <ul style="list-style-type: none"> ① メモ: このオプションが無効になっている場合、プラットフォームの USB ポートに接続されている USB キーボード、マウス、またはその両方は、BIOS セットアップ内で引き続き機能します。
[Thunderbolt™アダプターの設定]	<p>次の Thunderbolt オプションを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Thunderbolt](デフォルトで有効)

表 23. システム設定 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● [Thunderbolt 起動サポートを有効にする](デフォルトで無効) ● [Thunderbolt (および TBT の後ろにある PCIe) のプリブートを有効にする](デフォルトで無効) <p>次に示されているのはセキュリティ レベルです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [セキュリティなし](デフォルトで無効) ● [ユーザー認証](デフォルトで有効) ● [安全な接続](デフォルトで無効) ● [ポートおよび USB のみを表示する](デフォルトで無効)
[USB PowerShare]	<p>このオプションは、USB PowerShare 機能の動作を有効または無効にします。</p> <p>[USB PowerShare を有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[オーディオ]	<p>組み込み型オーディオコントローラーを有効または無効にすることができます。[オーディオを有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [マイクロフォンを有効にする](デフォルトで有効) ● [内蔵スピーカーを有効にする](デフォルトで有効)
[キーボードライト]	<p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無効](デフォルトで無効): キーボードライトは常にオフまたは 0% です。 ● [暗い](デフォルトで無効): キーボードライト機能を 50% の明るさで有効にします。 ● [明るい](デフォルトで有効): キーボードライト機能を 100% の明るさレベルで有効にします。
[Keyboard Backlight Timeout on AC(AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)]	<p>この機能は、AC アダプターがシステムに接続されている場合の、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [5 秒] ● [10 秒](デフォルトで有効) ● [15 秒] ● [30 秒] ● [1 分間] ● [5 分間] ● [15 分間] ● [なし]
[Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリーでのキーボードバックライトのタイムアウト)]	<p>この機能は、システムをバッテリー電源のみで実行している場合の、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [5 秒] ● [10 秒](デフォルトで有効) ● [15 秒] ● [30 秒] ● [1 分間] ● [5 分間]

表 23. システム設定（続き）

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [15 分間] • [なし]
[Unobtrusive Mode (控えめモード)]	<p>有効にした場合、Fn+F7 を押すとシステム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。Fn+Shift+B を押すと通常のオペレーションに戻ります。</p> <p>[はっきりモードを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[指紋認証リーダー]	<p>指紋認証リーダー デバイスを有効または無効にします。</p> <p>[指紋認証リーダー デバイスを有効にする] はデフォルトで有効に設定されています。</p>
[その他のデバイス]	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [カメラを有効にする] (デフォルトで有効) • [セキュア デジタル (SD) カードを有効にする] (デフォルトで有効) • [セキュア デジタル (SD) カードの起動] (デフォルトで無効) • [セキュア デジタル (SD) カード読み取り専用モード] (デフォルトで無効)
[MAC Address Pass- Through]	<p>この機能により、外部 NIC MAC アドレス (サポートされているドッキングステーションまたはドングル内) をシステムで選択された MAC アドレスに置き換えることができます。デフォルトオプションでは、パススルーの MAC アドレスが使用されません。</p> <p>オプション :</p> <ul style="list-style-type: none"> • [システム固有の MAC アドレス] (デフォルトで有効) • [無効] (デフォルトで無効)

ビデオ画面のオプション

表 24. ビデオ

オプション	説明
[LCD の明るさ]	<p>電源に応じてディスプレイの明るさを設定できます。バッテリーの場合はデフォルトで 50% に設定されており、AC の場合はデフォルトで 100% に設定されています。</p>

セキュリティ

表 25. セキュリティ

オプション	説明
[管理者パスワード]	<p>管理者 (admin) パスワード (セットアップパスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除できます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [以前のパスワードを入力する :]

表 25. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	<p>① メモ: 最初のログイン時には、「以前のパスワードを入力する :」のフィールドに「未設定」と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [新たなパスワードを入力する :] ● [新たなパスワードを確認する :] <p>パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。</p> <p>パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>① メモ: 管理者パスワードを削除すると、システムパスワード (設定されている場合) も削除されます。管理者パスワードを使用して、HDD パスワードを削除することもできます。このため、システムパスワードまたは HDD パスワードが設定されている場合、管理者パスワードを設定できません。管理者パスワードをシステムパスワード、HDD パスワード、またはその両方と一緒に使用する場合、最初に管理者パスワードを設定する必要があります。</p>
[システムパスワード]	<p>システムパスワード (以前は「プライマリー」パスワードと呼ばれていた) を設定、変更、または削除できます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [以前のパスワードを入力する :] ① メモ: 最初のログイン時には、「以前のパスワードを入力する :」のフィールドに「未設定」と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除できます。 ● [新たなパスワードを入力する :] ● [新たなパスワードを確認する :] <p>パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。</p> <p>パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。電源をオンにする際に、システムでパスワードの入力が必要です。</p>
[パスワードの設定]	<p>パスワードを設定する際に、ルールを制御することができます。文字の値を 4 字未満にすることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [小文字] ● [大文字] ● [桁] ● [特殊文字] <p>すべてのオプションがデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [最小文字数] (デフォルトで 4 に設定)
[パスワードのスキップ]	<p>システムの再起動時にシステム (起動) パスワードと内蔵 HDD パスワードのプロンプトをスキップすることができます。</p> <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無効] (デフォルトで有効) ● [再起動のスキップ] (デフォルトで無効) <p>① メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムでシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードを入力するよう常に指示されます。システムで、存在する可能性があるモジュールベイ HDD のパスワードを入力するよう常に指示されます。</p>
[パスワードの変更]	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードディスクパスワードを変更できます。</p> <p>[管理者以外によるパスワードの変更を許可] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[UEFI カプセルファームウェアアップデート]	<p>システム BIOS を UEFI カプセルアップデートパッケージでアップデートすることができます。</p>

表 25. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	<p>[UEFI カプセルファームウェアアップデートを有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>① メモ: このオプションを無効にすると、Microsoft Windows アップデートおよび Linux Vendor Firmware Service (LVFS) などのサービスから、BIOS のアップデートがブロックされます。</p>
<p>[TPM 2.0 セキュリティ]</p>	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無効] (デフォルトで無効) ● [有効] (デフォルトで有効) <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [TPM On] (デフォルトで有効) ① メモ: このオプションを無効にしても、TPM で実行したいいずれの設定も変更されず、TPM に保存した可能性のある情報またはキーが削除されたり変更されたりすることはありません。この設定は変更されるとすぐに反映されます。 ● [クリア] (デフォルトで無効) ● [有効なコマンドの PPI をスキップ] (デフォルトで無効) ● [無効なコマンドの PPI をスキップ] (デフォルトで無効) ● [クリアコマンドの PPI をスキップ] (デフォルトで無効) ● [証明書を有効にする] (デフォルトで有効) ● [キーストレージを有効にする] (デフォルトで有効) ● [SHA-256] (デフォルトで有効)
<p>[Absolute]</p>	<p>このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュールインターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [有効] (デフォルトで有効) ● [無効] (デフォルトで無効) ● [恒久的に無効] (デフォルトで無効) <p>⚠ 警告: [恒久的に無効] オプションは 1 回のみ選択できます。[恒久的に無効] を選択した場合は、Absolute Persistence を再度有効にすることはできません。有効または無効の状態をそれ以上変更することはできません。</p>
<p>[OROM キーボードアクセス]</p>	<p>このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。この設定によって、インテル RAID (Ctrl+I) または Intel Management Engine BIOS Extension (Ctrl+P/F12) へのアクセスを防ぐことができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [有効] (デフォルトで有効) ● [無効] (デフォルトで無効) ● [1 回限り有効にする] (デフォルトで無効)
<p>[管理者設定のロック]</p>	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止できます。</p> <p>[管理者セットアップのロックを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
<p>[マスターパスワードのロック]</p>	<p>マスターパスワードのサポートを無効にすることができます。</p> <p>[マスターパスワードのロックを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <p>① メモ: この設定を変更する前には、ハードディスクパスワードをクリアする必要があります。</p>
<p>[SMM セキュリティの緩和]</p>	<p>UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。</p> <p>[SMM セキュリティの緩和] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>

表 25. セキュリティ (続き)

オプション	説明
[HDD Security]	<p>このセクションでは、Opal または Pyrite 仕様の要件をサポートする自動暗号化ドライブ (SED) で使用できる特別なセキュリティ機能が定義されています。通常のストレージ デバイスでは使用できません。</p> <p>[SED ブロックの SID 認証] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>[SED ブロックの SID コマンドに対する PPI をスキップ] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>

セキュア ブート

表 26. セキュア ブート

オプション	説明
[セキュア ブートを有効にする]	<p>セキュア ブート機能を有効または無効にできます。</p> <p>[セキュア ブートを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[セキュア ブート モード]	<p>セキュア ブートの操作モードを変更すると、セキュア ブートの動作が変更され、UEFI ドライバー署名の評価または実施ができるようになります。</p> <p>いずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [導入モード] (デフォルトで有効) • [監査モード] (デフォルトで無効)
[エキスパートキー管理]	<p>[エキスパート キー管理] を有効または無効にできます。</p> <p>Enable Custom Mode オプションはデフォルトでは無効になっています。</p> <p>Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> • [PK] (デフォルトで有効) • [KEK] • [db] • [dbx]

インテル® ソフトウェア・ガード・エクステンションズのオプション

表 27. インテルソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
[Intel SGX 有効化]	<p>このフィールドでは、メイン オペレーティングシステムのコンテキストでコードの実行や、機密情報の保存を行うためのセキュアな環境を設定できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [有効] • [ソフトウェア制御] (デフォルトで有効)
[エンクリープメモリ- サイズ]	<p>このオプションでは、[SGX エンクリープの保存メモリー サイズ] が表示されます。</p> <p>[エンクリープのメモリー サイズ] は [128 MB] です。</p>

パフォーマンス

表 28. パフォーマンス

オプション	説明
[マルチコア サポート]	<p>このフィールドでは、プロセッサで1個のコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべて](デフォルトで有効) • [1] • [2] • [3] <p>メモ: [信頼できる実行] モードを有効にするには、すべてのコアを有効にする必要があります。</p>
[インテル SpeedStep]	<p>プロセッサの Intel SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <p>インテル SpeedStep を有効にするオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[C ステータス コントロール]	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効に設定することができます。</p> <p>この C ステータス オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[インテル ターボ・ブースト]	<p>このオプションでは、プロセッサのインテル TurboBoost モードを有効または無効にします。</p> <p>インテル ターボ・ブーストを有効にするオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[ハイパースレッド コントロール]	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [有効](デフォルトで有効)

電源管理

表 29. 電源管理

オプション	説明
[Lid スイッチ]	<p>蓋を閉じるときに画面がオフにならないように、Lid スイッチを有効または無効にできます。</p> <p>[Lid スイッチを有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>[Lid オープン パワー オン] オプションはデフォルトで有効に設定されています。このオプションによって、蓋を開けるたびに電源オフの状態からシステムに電源投入することができます。AC アダプターまたはシステム バッテリーのいずれかによって電源が供給されると、システムの電源がオンになります。</p>
[AC 動作]	<p>AC アダプターが接続されるとシステム(オフまたは休止状態の場合)の電源が自動的にオンになります。</p> <p>[ウェイク オン AC] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[インテル Speed Shift テクノロジーを有効にする]	<p>このオプションを使用して、Intel Speed Shift Technology のサポートを有効または無効にします。</p> <p>インテル Speed Shift Technology を有効にするオプションはデフォルトで有効になっています。</p>

表 29. 電源管理（続き）

オプション	説明
[自動電源オン時刻]	<p>システムが自動的に起動する時刻を設定することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無効](デフォルトで有効) ● [Every Day (毎日)] ● [Weekdays (平日)] ● [Select Days (選択した日)]
[温度管理]	<p>冷却ファンとプロセッサのスピードを管理できます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [最適化](デフォルトで有効) ● [Cool (クール)] ● [Quiet (静音)] ● [ウルトラ パフォーマンス]
[USB ウェイク サポート]	<p>USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。</p> <p>[ウェイク オン Dell USB-C Docking Station] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>① メモ: この機能は、AC 電源アダプターを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモードになる前に AC 電源アダプターを取り外すと、バッテリーの電力を節約するため、BIOS はすべての USB ポートへの電力供給を停止します。</p>
[ワイヤレス通信の制御]	<p>このオプションを有効にした場合、有線ネットワークへのシステムの接続が検出され、選択したワイヤレス無線 (WLAN、WWAN、または両方) が無効になります。有線ネットワークが切断されると、選択したワイヤレス無線が再度有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [WLAN 無線の制御](デフォルトで無効) ● [WWAN 無線の制御](デフォルトで無効)
[Wake on LAN]	<p>特殊な LAN 信号または特殊な Dell USB-C Docking Station LAN 信号によって始動させられた場合に、電源がオフの状態からシステムに電源投入することができます。スタンバイ状態からのウェイクアップは、この設定による影響はなく、オペレーティングシステムで有効にされている必要があります。この機能は、システムが AC 電源アダプターに接続されている場合にのみ作動します。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無効](デフォルトで有効) ● [LAN Only (LAN のみ)] ● [LAN with PXE Boot (PXE ブート付き LAN)]
[ブロック スリープ]	<p>このオプションでは、オペレーティングシステムでスリープに入ることを防ぐことができます。</p> <p>[ブロック スリープ] オプションはデフォルトで無効になっています。</p>
[ピーク シフト]	<p>ピーク シフト機能を有効または無効にできます。この機能を有効にすると、需要ピーク時の AC 電源の使用量を最小限に抑えることができます。バッテリーは、ピーク シフト開始から終了まで充電されません。</p> <p>[ピーク シフトの開始]、[ピーク シフトの終了]、[ピーク シフトの充電開始] 時間は、すべての平日で設定できます。すべての日のシフトはデフォルトで午前 9:30 に設定されています。</p> <p>このオプションでは、バッテリーのしきい値 (15% ~ 100%) を設定します。バッテリーのしきい値はデフォルトで [15%] 設定されています。</p> <p>[ピーク シフトを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[高度なバッテリー充電の設定]	<p>このオプションによって、仕事日の頻繁な使用をサポートすると同時に、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。</p> <p>高度なバッテリー充電モードは、すべての平日で設定できます</p>

表 29. 電源管理（続き）

オプション	説明
	<p>1日の開始時間はすべての日がデフォルトで午前 8:00 に設定されています。終了時間はすべての日がデフォルトで 10:00 に設定されています。</p> <p>[高度なバッテリー充電モードを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[プライマリー バッテリー 充電設定]	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [適応](デフォルトで有効) • [標準]: バッテリーが標準速度でフル充電されます。 • [ExpressCharge™]: Dell の高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーが充電されます。 • [主に AC を使用]: 外部電源に接続中のシステムを主に操作するユーザーのバッテリー持続時間を延長させます。 • [カスタム]: バッテリー充電の開始と停止を指定します。 <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p>① メモ: バッテリーのタイプによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、「高度なバッテリー充電モード」を無効にする必要があります。</p>

POST 動作

表 30. POST 動作

オプション	説明
[アダプターの警告]	<p>特定の電源アダプターを使用する場合に、システムの警告メッセージを有効または無効にできます。お使いの構成に対して容量が少ない電源アダプターを使用しようとする、システムに警告メッセージが表示されます。</p> <p>[アダプターの警告を有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[Fn ロック オプション]	<p>ホットキーの組み合わせ Fn + Esc で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。</p> <p>[Fn ロック] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ロック モード無効/標準](デフォルトで無効) • [ロック モード有効/二次](デフォルトで有効)
[ファストブート]	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [最小] • [完全](デフォルトで有効) • [自動]
[BIOS POST 時間を延長]	<p>プリブートの遅延を追加で作成し、POST のステータス メッセージを表示させることができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [0 秒](デフォルトで有効) • [5 秒] • [10 秒]

表 30. POST 動作 (続き)

オプション	説明
[警告とエラー]	<p>POST 中に警告またはエラーが検出された場合に、次のようなオプションを選択することができます。停止し、プロンプトを表示してユーザーの入力を待機する、警告が検出されたときには継続するがエラーでは一時停止する、警告でもエラーでも継続する。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [警告およびエラー時のプロンプト](デフォルトで有効) • [継続する警告] • [継続する警告とエラー] <p>① メモ: システム ハードウェアの作動にとって重大と判断されるエラーが検出された場合、システムは常に停止します。</p>
[Sign of Life Indication (ライフインジケータの信号)]	<p>このオプションにより、ユーザーが聞いたり感じたりできる方法で、POST 中に電源ボタンが認知されたことがシステムによって示されるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オーディオ ライフ インジケータの信号を有効にする](デフォルトで無効) • [ディスプレイ ライフ インジケータの信号を有効にする](デフォルトで有効) • [キーボード バックライト ライフ インジケータの信号を有効にする](デフォルトで有効)

管理機能

表 31. 管理機能

オプション	説明
[インテル AMT 機能]	<p>インテル AMT 機能を有効、無効、または制限することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 • MEBx アクセスの制限 (デフォルトで有効)
[USB プロビジョン]	<p>有効にした場合、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT のプロビジョニングをすることができます。</p> <p>[USB プロビジョンを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[MEBx ホットキー]	<p>このオプションは、システムを起動するときに、どの MEBx ホットキー機能を有効にするかを指定します。</p> <p>[MEBx ホットキーを有効にする] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>

仮想化サポート

表 32. 仮想化サポート

オプション	説明
[仮想化]	<p>このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p>

表 32. 仮想化サポート（続き）

オプション	説明
	<p>[インテルバーチャライゼーション・テクノロジーを有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>① メモ: 信頼された実行では、バーチャライゼーションテクノロジーを有効にする必要があります。</p>
[Direct I/O 用 VT]	<p>ダイレクト I/O 用インテルバーチャライゼーション・テクノロジーによって提供される追加のハードウェア機能を Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <p>① メモ: 信頼された実行では、Direct I/O を有効にするために VT が必要です。</p> <p>[ダイレクト I/O 用の VT を有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[信頼できる実行]	<p>このオプションではインテルトラステッドエグゼキューションテクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <p>① メモ: この機能を使用するには、TPM を有効にして起動させ、またバーチャライゼーションテクノロジーおよびダイレクト I/O 用 VT を有効にする必要があります。</p> <p>[信頼できる実行] オプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>

ワイヤレスオプション

表 33. ワイヤレス

オプション	説明
[ワイヤレス デバイスを有効にする]	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [WWAN/GPS] ● [WLAN] ● [Bluetooth] ● [非接触型スマートカード/NFC] <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
[動的ワイヤレス転送電力]	<p>このオプションを有効にすると、規制のガイドラインに準拠してシステムの転送電力または WLAN デバイスを増やし、特定のシステム構成でのパフォーマンスを向上させることができます。</p> <p>[動的ワイヤレス転送電力] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>

メンテナンス

表 34. メンテナンス

オプション	説明
[サービス タグ]	<p>システムのサービス タグを表示します。サービス タグがまだ設定されていない場合、このフィールドを使用して設定できます。</p>

表 34. メンテナンス（続き）

オプション	説明
[Asset Tag]	Asset Tag がまだ設定されていない場合、このオプションで作成できます。パスワードの文字数制限は 64 文字です。
[BIOS のダウングレード]	システム ファームウェアの以前のリビジョンをフラッシュすることができます。 [BIOS のダウングレードを有効にする] オプションはデフォルトで有効に設定されています。
[データ ワイプ]	すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。 [次回起動時に消去する] オプションはデフォルトで無効に設定されています。 ⚠ 警告: この操作によってデバイスからすべてのデータが恒久的に削除されます。
[BIOS リカバリー]	ハード ドライブまたは外付け USB ドライブのリカバリ ファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。 [ハード ドライブからの BIOS のリカバリー] オプションはデフォルトで有効です。 ハード ドライブからの BIOS リカバリーは、自動暗号化ドライブ (SED) では使用できません。
[最初の電源投入日]	購入日を設定できます。 [購入日の設定] オプションはデフォルトで無効に設定されています。

システムログ

表 35. システムログ

オプション	説明
[BIOS イベント]	システム セットアップ (BIOS) のイベントを表示および消去できます。
[Thermal and Self-Test Events]	システム セットアップ (温度およびセルフテスト) のイベントを表示および消去できます。
[電源イベント]	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

SupportAssist システムの解決策

表 36. SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
自動 OS リカバリーのしきい値	SupportAssist システム解決策コンソール、Dell OS Recovery ツールの自動起動フローを制御できます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 消灯 ● 1 ● 2 (デフォルトで有効) ● 3
SupportAssist OS リカバリー	特定のシステム エラーの発生時に、SupportAssist OS Recovery ツールの起動フローを有効または無効に設定できます。

表 36. SupportAssist システムの解決策（続き）

オプション	説明
	[SupportAssist OS Recovery] オプションは、デフォルトで有効に設定されています。
BIOSConnect	ローカルの OS リカバリーが存在しない場合、クラウド サービス OS を有効または無効にできます。 [BIOSConnect] オプションはデフォルトで有効です。

Windows での BIOS のアップデート

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システム セットアップ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - [サービス タグ] や [エクスプレス サービス コード] を入力し、[送信] をクリックします。
 - [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから [Products] カテゴリを選択します。

メモ: 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の [製品サポート] ページが表示されます。
6. [Get drivers] をクリックし、[Drivers and Downloads] をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、[Download] をクリックします。
10. [Please select your download method below] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[ファイルのダウンロード] をクリックします。
[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、[保存] をクリックします。
12. [実行] をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。[**BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート (英語)**]

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブート可能 USB フラッシュ ドライブに保存します。

メモ: ブート可能 USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。さらなる詳細については、次の記事を参照してください。[[Dell Diagnostics Deployment Package \(DDDP \) を使用してブート可能 USB フラッシュ ドライブを作成する方法](#)]

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブート可能 USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ログが表示されたら F12 を押して、ワンタイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、[USB ストレージ デバイス] を選択し、[Enter] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [Enter] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティーがロードされます。画面の指示に従います。



図 1. DOS の BIOS アップデート画面

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 37. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

注意: パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

注意: コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが [未設定] の場合のみ、新しい [システム パスワードまたは管理者パスワード] を割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[セキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システム/管理者パスワード] を選択し、[新しいパスワードを入力] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() \ (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([) (\) (]) (`)
3. [新しいパスワードの確認] フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワード ステータス**が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[システム セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード] を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. [セットアップ パスワード] を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 - ① **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

トラブルシューティング

Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断

SupportAssist 診断（システム診断とも呼ばれる）ではハードウェアの完全なチェックを実行します。Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断は BIOS に組み込まれており、BIOS によって内部で起動します。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスまたはデバイス グループ用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

メモ: 特定のデバイスについては、ユーザーによる操作が必要なテストもあります。診断テストを実行する際は、コンピューター端末の前に必ずいるようにしてください。

詳細については、「[内蔵およびオンライン診断 \(SupportAssist ePSA、ePSA または PSA エラーコード\)](#) を使用してハードウェアの問題を解決する方法」を参照してください。

SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェックの実行

1. PC の電源を入れます。
2. PC が起動し、Dell のロゴが表示されたら F12 キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、[診断] オプションを選択します。
4. 左下隅の矢印をクリックします。
診断プログラムのフロント ページが表示されます。
5. 右下隅にある矢印をクリックして、ページ リストに移動します。
検出されたアイテムが一覧表示されます。
6. 特定のデバイスで診断テストを実行するには、Esc を押して [はい] をクリックし、診断テストを中止します。
7. 左のパネルからデバイスを選択し、[テストの実行] をクリックします。
8. 何か問題がある場合は、エラー コードが表示されます。
エラー コードと検証番号をメモして、デルにお問い合わせください。

診断

ビープコードではなく、2 色のバッテリー充電/ステータス LED によってエラーが示されます。特定の点滅パターンの後に、オレンジで点滅した後、白で点滅します。

診断パターンは 2 桁の数字によって構成されています。この数字は、まず LED がオレンジ色で点滅 (1~9) した後、1.5 秒間 LED が消えたまま停止し、次に LED が白色で点滅 (1~9) することによって示されます。これは、3 秒間 LED が消えたまま停止した後で再度繰り返し替えされます。LED の点滅は、それぞれ 1.5 秒間です。

診断エラー コードが表示されているとき、システムはシャットダウンされません。診断エラーコードは、常に LED の他のどの用途よりも優先されます。たとえば、ノートパソコンでは、診断エラー コードが表示されているときには、低バッテリーまたはバッテリー障害時のバッテリー コードは表示されません。

表 38. 診断 LED の状態

橙色の LED の状態	白色の LED の状態	システム状態	メモ
2	1	CPU の障害です	インテル CPU 診断ツールを実行します。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	2	システム ボード BIOS の破損 または ROM エラーを含む)	BIOS の最新バージョンを使用します。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	3	メモリー/RAM が検出されませんでした	メモリー モジュールが正しく取り付けられていることを確認します。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	4	メモリー/RAM の障害	メモリー モジュールをリセットします。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	5	無効なメモリーが取り付けられています	メモリー モジュールをリセットします。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	6	システム ボード/チップ セットのエラー	BIOS の最新バージョンを使用します。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	7	LCD の障害です	BIOS の最新バージョンを使用します。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	8	LCD の電源レールの障害	システム ボードを取り付けます。
3	1	CMOS バッテリーの障害です	CMOS バッテリー接続をリセットします。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
3	2	PCI またはビデオ カード/チップの障害	システム ボードを取り付けます。
3	3	BIOS のリカバリー イメージが見つかりません	BIOS の最新バージョンを使用します。 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
3	4	検出された BIOS のリカバリー イメージは無効です	BIOS の最新バージョンを使用します。

表 38. 診断 LED の状態 (続き)

橙色の LED の状態	白色の LED の状態	システム状態	メモ
			問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
3	5	母線の障害です	EC で電源シーケンス障害が発生しました 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
3	6	SBIOS フラッシュの破損	SBIOS によってフラッシュの破損が検出されました 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
3	7	ME のエラー	ME が HECI メッセージへの返信を待機している間にタイムアウトしました 問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。

① **メモ:** 診断パターンが 2-オレンジ色、8-白色の場合は、外部モニターを接続し、システム ボードの障害かグラフィックスコントローラー障害かを特定します。

診断エラーメッセージ

表 39. 診断エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
AUXILIARY DEVICE FAILURE	タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで [Pointing Device] (ポインティングデバイス) オプションの設定を有効にします。
BAD COMMAND OR FILE NAME	コマンドのスペルは正しいか、空白の位置は正しいか、パス名は正しいかを確認してください。
CACHE DISABLED DUE TO FAILURE	マイクロプロセッサに内蔵の 1 次キャッシュに問題が発生しました。 デルへのお問い合わせ
CD DRIVE CONTROLLER FAILURE	コンピュータからのコマンドにオプティカルドライブが応答しません。
DATA ERROR	ハードドライブからデータを読むことができません。
DECREASING AVAILABLE MEMORY	メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要があれば交換します。
DISK C: FAILED INITIALIZATION	ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの Hard Disk Drive テストを実行します。
DRIVE NOT READY	操作を続行する前に、ベイにはハードドライブが必要です。ハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを取り付けます。
ERROR READING PCMCIA CARD	コンピュータが、ExpressCard を認識できません。カードを挿入しなおすか、別のカードを使用してください。

表 39. 診断エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ	説明
EXTENDED MEMORY SIZE HAS CHANGED	不揮発性メモリ (NVRAM) に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリモジュールの容量と一致しません。コンピュータを再起動します。再度エラーが表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
THE FILE BEING COPIED IS TOO LARGE FOR THE DESTINATION DRIVE	指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。
A FILENAME CANNOT CONTAIN ANY OF THE FOLLOWING CHARACTERS: \ / : * ? " < > -	これらの文字はファイル名には使用しないでください。
GATE A20 FAILURE	メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要があれば交換します。
GENERAL FAILURE	オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージに続いて具体的な情報が表示されます。例えば、Printer out of paper. Take the appropriate action.
HARD-DISK DRIVE CONFIGURATION ERROR	コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータをオプティカルドライブから起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの [Hard Disk Drive] テストを実行します。
HARD-DISK DRIVE CONTROLLER FAILURE 0	ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータをオプティカルドライブから起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの [Hard Disk Drive] テストを実行します。
HARD-DISK DRIVE FAILURE	ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータをオプティカルドライブから起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの [Hard Disk Drive] テストを実行します。
HARD-DISK DRIVE READ FAILURE	ハードディスクドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータをオプティカルドライブから起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの [Hard Disk Drive] テストを実行します。
INSERT BOOTABLE MEDIA	オペレーティングシステムは、オプティカルドライブなどの起動できないメディアから起動しようとしています。起動可能なメディアをセットします。
INVALID CONFIGURATION INFORMATION-PLEASE RUN SYSTEM SETUP PROGRAM	システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティで対応するオプションを修正します。

表 39. 診断エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ	説明
KEYBOARD CLOCK LINE FAILURE	外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。[Dell Diagnostics](診断) プログラムの [Keyboard Controller] テストを実行します。
KEYBOARD CONTROLLER FAILURE	外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。[Dell Diagnostics](診断) プログラムの [Keyboard Controller] テストを実行します。
KEYBOARD DATA LINE FAILURE	外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。[Dell Diagnostics](診断) プログラムの [Keyboard Controller] テストを実行します。
KEYBOARD STUCK KEY FAILURE	外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。[Dell Diagnostics](診断) プログラムの [Stuck Key] テストを実行します。
LICENSED CONTENT IS NOT ACCESSIBLE IN MEDIADIRECT	Dell MediaDirect では、そのファイルのデジタル権限管理 (DRM) 制限が検証できないので、そのファイルは再生できません。
MEMORY ADDRESS LINE FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要があれば交換します。
MEMORY ALLOCATION ERROR	実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
MEMORY DOUBLE WORD LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要があれば交換します。
MEMORY ODD/EVEN LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要があれば交換します。
MEMORY WRITE/READ FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要があれば交換します。
NO BOOT DEVICE AVAILABLE	コンピュータがハードディスクドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分 (パーティション) されているか確認します。
NO BOOT SECTOR ON HARD DRIVE	オペレーティングシステムが破損している可能性があります。 デルにお問い合わせください。
NO TIMER TICK INTERRUPT	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。[Dell Diagnostics](診断) プログラムの [System Set] テストを実行します。
NOT ENOUGH MEMORY OR RESOURCES. EXIT SOME PROGRAMS AND TRY AGAIN	開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。
OPERATING SYSTEM NOT FOUND	OS の再インストール。問題が解決しない場合は、 デルにお問い合わせください。
OPTIONAL ROM BAD CHECKSUM	オプション ROM に障害が発生しました。 デルにお問い合わせください。

表 39. 診断エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ	説明
SECTOR NOT FOUND	オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードディスクドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードディスクドライブのファイル構造を調べます。手順については、[Windows Help and Support] (ヘルプとサポート) を参照してください ([Start (スタート)] > [Help and Support (ヘルプとサポート)] をクリックします)。多くのセクターに障害がある場合、データをバックアップして (可能な場合)、ハードディスクドライブをフォーマットします。
SEEK ERROR	オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。
SHUTDOWN FAILURE	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの [System Set] テストを実行します。再度メッセージが表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY CLOCK LOST POWER	システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合は、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試み、それからすぐにプログラムを終了します。再度メッセージが表示される場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY CLOCK STOPPED	システム設定をサポートする予備バッテリーに、再充電が必要である可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合は、 デルにお問い合わせください 。
TIME-OF-DAY NOT SET-PLEASE RUN THE SYSTEM SETUP PROGRAM	セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。[Date and Time] (日付と時刻) オプションの設定を修正します。
TIMER CHIP COUNTER 2 FAILED	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの [System Set] テストを実行します。
UNEXPECTED INTERRUPT IN PROTECTED MODE	キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。[Dell Diagnostics] (診断) プログラムの [System Memory] テストおよび [Keyboard Controller] テストを実行するか、 デルにお問い合わせください 。
X:\ IS NOT ACCESSIBLE. THE DEVICE IS NOT READY	ディスクをドライブに挿入し、操作をやり直してください。

システムエラーメッセージ

表 40. システムエラーメッセージ

システムメッセージ	説明
Alert! Previous attempts at booting this system have failed at checkpoint [nnnn]. For help in resolving this problem, please note this checkpoint and contact Dell Technical Support (警告 : このシステムの前回の起動時にチェックポイント [nnnn] で障害が発生しました。この問題を解決するには、このチェックポイントをメモしてデルテクニカルサポートにお問い合わせください)	同じエラーによって、コンピュータは3回連続して起動ルーチンを終了できませんでした。
CMOS checksum error (CMOS チェックサムエラー)	RTC がリセットされ、[BIOS セットアップ] のデフォルトがロードされています。

表 40. システムエラーメッセージ (続き)

システムメッセージ	説明
CPU fan failure (CPU ファン障害)	CPU ファンに障害が発生しました。
System fan failure (システムファン障害)	システムファンに障害が発生しました。
Hard-disk drive failure (ハードディスクドライブ障害)	POST 中にハードディスクドライブに障害が発生した可能性があります。
Keyboard failure (キーボード障害)	キーボードに障害が発生したか、またはケーブルがしっかりと接続されていません。ケーブルをつなぎ直しても問題が解決しない場合はキーボードを交換してください。
No boot device available (起動デバイスがありません)	ハードディスクドライブ上に起動可能なパーティションが存在しないか、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていないか、または起動可能なデバイスが存在しません。 <ul style="list-style-type: none"> ハードドライブが起動デバイスの場合、ケーブルが接続されていること、およびドライブが適切に取り付けられ、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。 セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいことを確認します。
No timer tick interrupt (タイマーティック割り込み信号がありません)	システム基板上のチップが誤動作しているか、またはマザーボードに障害が発生している可能性があります。
NOTICE - Hard Drive SELF MONITORING SYSTEM has reported that a parameter has exceeded its normal operating range. Dell recommends that you back up your data regularly. A parameter out of range may or may not indicate a potential hard drive problem(注意 - ハードドライブの自己監視システムに、パラメーターが通常の動作範囲を超えていることがレポートされています。デルではデータを定期的にバックアップすることをお勧めしています。パラメーターが範囲を超えていても、ハードドライブに潜在的な問題がある場合とそうでない場合があります。)	S.M.A.R.T エラー、ハードディスクドライブに障害の可能性があります。

Wi-Fi 電源の入れ直し

お使いのコンピューターが Wi-Fi 接続の問題が原因でインターネットにアクセスできない場合は、Wi-Fi 電源の入れ直し手順を実施することができます。次に、Wi-Fi 電源の入れ直しの実施方法についての手順を示します。

① | メモ: 一部の ISP (インターネット サービス プロバイダ) はモデム/ルータ コンボ デバイスを提供しています。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. モデムの電源を切ります。
3. ワイヤレス ルータの電源を切ります。
4. 30 秒待ちます。
5. ワイヤレス ルータの電源を入れます。
6. モデムの電源を入れます。
7. コンピューターの電源を入れます。

デルへのお問い合わせ

① | メモ: お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国/地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。